

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

T&D保険グループ

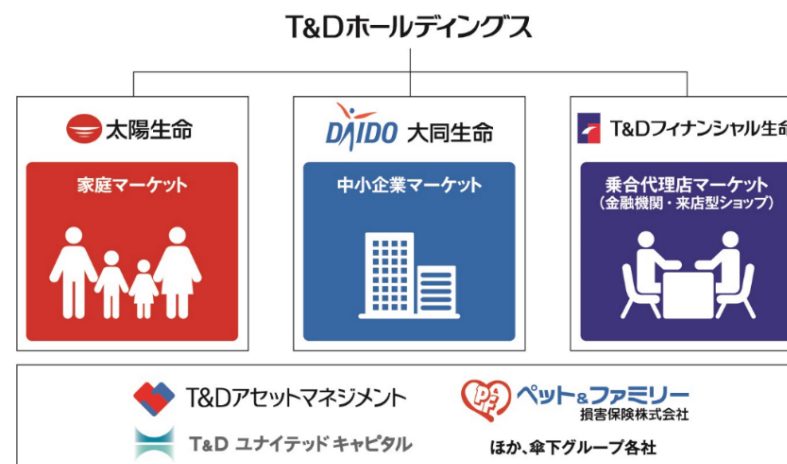
2023年3月期第1四半期決算のお知らせ

2022年8月10日

株式会社 T&Dホールディングス

目次・グループストラクチャー

[2023年3月期第1四半期決算のサマリー]	P. 2
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 4
2. 国内生命保険事業	P. 7
3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業	P. 13
4. 通期業績予想・株主還元	P. 15
【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況	P. 16



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、グループの事業ポートフォリオの多様化を担うT&Dユナイテッドキャピタル（クローズドブック事業等）や T&Dアセットマネジメント（アセットマネジメント事業）、ペット&ファミリー損害保険（損害保険事業）等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T & Dホールディングス（連結）
3社合算	: 生命保険会社3社（太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の単純合算

[2023年3月期第1四半期決算のサマリー]

■ 1. T&D保険グループ決算の概況^{※1}

詳細はP4~6

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
経常収益	5,700 億円	7,523 億円	+32.0 %
グループ修正利益 ^{※2}	241 億円	386 億円	+60.2 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は純損失）	△ 318 億円	△ 592 億円	— %

- 「経常収益」は、国内生命保険事業の業績好調により、前年同期から増加。
- グループの主要経営指標である「グループ修正利益」は、国内生命保険事業および海外再保険関連会社（以下、フォーティテュード社）の業績が好調だったことにより、前年同期から増加。
- 「親会社株主に帰属する四半期純利益」は、米国金利上昇に伴うフォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

■ 2. 国内生命保険事業（3社合算）

詳細はP7~12

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
新契約年換算保険料	308 億円	368 億円	+19.5 %
	2022/3末	2022/6末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,431 億円	15,449 億円	+0.1 %
	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
保険料等収入	4,610 億円	5,331 億円	+15.6 %
	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
基礎利益 ^{※3}	375 億円	418 億円	+11.5 %
	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
修正利益 ^{※2}	220 億円	280 億円	+27.2 %
	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期差
新契約価値 ^{※4}	394 億円	463 億円	+68 億円

- 主力商品の販売好調や対面・非対面を融合した営業活動の定着等により、契約業績は堅調。「新契約年換算保険料」および「保険料等収入」とも、前年同期から増加。
- 「基礎利益」は、利息及び配当金等収入の増加等により前年同期から増加。
- 「新契約価値」は、前年同期から増加。

※1 2022/3期1Qは2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

※2 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

※3 2023/3期1Qより基礎利益の改正を反映し算出しています。（以下、新基準。）2022/3期1Qは新基準で再計算しています。改正前基準による2022/3期1Qの基礎利益は394億円です。

※4 新契約価値とは、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

[2023年3月期第1四半期決算のサマリー]

■ 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (T&Dユナイテッドキャピタル(連結)・T&Dアセットマネジメント・ペット&ファミリー損害保険合算)

詳細はP13~14

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q
修正利益 ※	23 億円	106 億円
四半期純利益 (△は純損失)	△ 543 億円	△ 860 億円

- 「修正利益」は、T & Dユナイテッドキャピタルにおける運用収支が好調であったこと等により前年同期から増加。
- 「四半期純利益」は、米国金利上昇に伴うフォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

■ 4. 通期業績予想・株主還元

詳細はP15

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
グループ修正利益 ※	392 億円	1,060 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	141 億円	170 億円

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0 円	62.0 円
(うち中間配当)	28.0 円	31.0 円

- 通期業績予想および1株当たり年間配当金予想は2022年5月13日公表内容から修正なし。
- 2023年3月期の1株当たり配当金予想は、6.0円増配の62.0円、8期連続の増配予定。

※ 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

1. T&D保険グループ決算の概況（連結損益）

■ 連結損益

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期差	前年同期比
経常収益	5,700	7,523	+1,822	+32.0%
うち保険料等収入	4,630	5,355	+724	+15.6%
うち資産運用収益	824	1,940	+1,116	+135.4%
うち利息及び配当金等収入	747	864	+116	+15.6%
うちその他経常収益	245	227	△ 18	△ 7.4%
経常費用	5,877	7,955	+2,077	+35.4%
うち保険金等支払金	3,610	5,684	+2,074	+57.4%
うち責任準備金等繰入額	820	81	△ 738	△ 90.0%
うち資産運用費用	134	498	+364	270.6%
うち持分法による投資損失	567	884	+316	+55.7%
経常利益（△は損失）	△ 177	△ 432	△ 255	-
特別損益	△ 20	△ 23	△ 2	-
契約者配当準備金繰入額	55	53	△ 1	△ 3.3%
税金等調整前四半期純利益	△ 253	△ 510	△ 256	-
法人税等合計	64	82	+17	+26.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は純損失）	△ 318	△ 592	△ 273	-
グループ修正利益	241	386	+145	+60.2%

<主な増減要因>

- ① 外国証券等の利息および配当等収入の増加等による
- ②③ 満期保険金・年金の支払増加等による
- ④ 為替ヘッジコストの上昇等による
- ⑤ フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等による

【参考】フォーティテュード社の組織再編(2021年10月1日公表)に伴う会計処理の遡及適用反映による2022/3期1Qへの影響

(単位：億円)

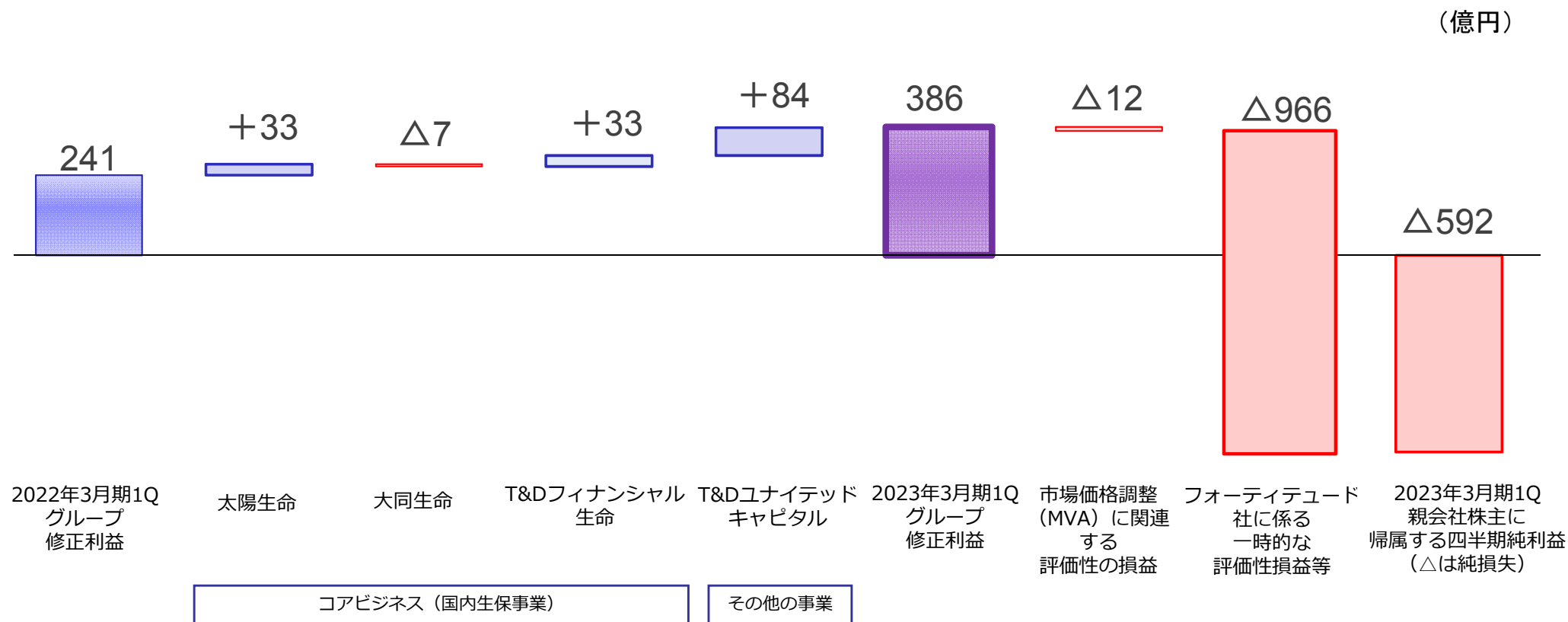
	2022/3期 1Q	
	遡及適用前	遡及適用後
経常費用	5,881	5,877
うち持分法による投資損失	571	567
経常利益（△は損失）	△ 180	△ 177
税金等調整前四半期純利益	△ 257	△ 253
法人税等合計	68	64
親会社株主に帰属する四半期純利益（△は純損失）	△ 325	△ 318

当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

* 2022/3期1Qは2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

1. T&D保険グループ決算の概況（グループ修正利益）

■ グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する四半期純利益との差異



* 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

1. T&D保険グループ決算の概況 (MCEV)

■ MCEV

(単位：億円)

	2022/6末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	35,310	+224
生命保険事業のMCEV	35,181	+1,034
うち太陽生命	11,169	△ 175
うち大同生命	22,601	+1,120
うちT&Dフィナンシャル生命	1,142	+29
生命保険以外の事業に係る純資産	129	△ 809

* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV (エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

* 「生命保険以外の事業に係る純資産」の前期末差 (△809億円) には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等 (△966億円) を含んでいます。

2. 国内生命保険事業（新契約・保有契約・新契約価値）

■ 新契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)
新契約年換算保険料	368	+60 (+19.5%)	91	+2 (+2.9%)	163	+16 (+10.9%)	113	+41 (+57.3%)
うち第三分野	97	+7 (+8.9%)	52	+3 (+7.1%)	43	+5 (+14.1%)	1	Δ 0 (Δ 47.4%)

* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

■ 保有契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/6末	前期末差 (前期末比)	2022/6末	前期末差 (前期末比)	2022/6末	前期末差 (前期末比)	2022/6末	前期末差 (前期末比)
保有契約年換算保険料	15,449	+17 (+0.1%)	5,766	Δ 34 (Δ 0.6%)	7,996	+7 (+0.1%)	1,686	+44 (+2.7%)
うち第三分野	2,804	+28 (+1.0%)	1,296	+18 (+1.4%)	1,473	+9 (+0.7%)	34	+0 (+0.9%)

■ 新契約価値

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 1Q	前年同期差 (前年同期比)
新契約価値	463	+68 (+17.4%)	153	+18 (+13.9%)	291	+41 (+16.5%)	18	+8 (+89.2%)

* 新契約価値は、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

2. 国内生命保険事業（損益関係）

（単位：億円）

	3社合算			太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	2023/3期 1Q	前年同期差	前年同期比	2023/3期 1Q	前年同期差	前年同期比	2023/3期 1Q	前年同期差	前年同期比	2023/3期 1Q	前年同期差	前年同期比
経常収益	7,921	+2,294	+40.8%	3,059	+889	+41.0%	2,590	+148	+6.1%	2,271	+1,256	+123.9%
うち保険料等収入	5,331	+720	+15.6%	1,806	+56	+3.2%	1,908	+16	+0.9%	1,615	+647	+67.0%
うち資産運用収益	1,945	+1,108	+132.4%	696	+317	+83.9%	604	+176	+41.3%	644	+614	-
うち利息及び配当金等収入	868	+114	+15.1%	437	+81	+22.8%	415	+34	+8.9%	15	△ 1	△ 7.5%
うちその他経常収益	644	+465	+259.0%	556	+515	-	77	△ 45	△ 36.9%	10	△ 5	△ 32.9%
経常費用	7,467	+2,236	+42.7%	2,908	+844	+40.9%	2,323	+155	+7.2%	2,235	+1,236	+123.9%
うち保険金等支払金	5,671	+2,072	+57.6%	2,390	+709	+42.2%	1,338	+19	+1.5%	1,943	+1,343	+224.1%
うち責任準備金等繰入額	565	△ 255	△ 31.1%	0	△ 58	△ 100.0%	401	△ 34	△ 7.9%	163	△ 162	△ 49.9%
うち資産運用費用	500	+359	+255.1%	231	+166	+254.5%	226	+156	+222.7%	42	+37	+677.3%
経常利益	453	+58	+14.7%	150	+45	+43.5%	267	△ 7	△ 2.6%	36	+19	+122.0%
特別損益	△ 23	△ 2	-	△ 9	+0	-	△ 12	△ 3	-	△ 2	+0	-
契約者配当準備金繰入額	53	△ 1	△ 3.3%	27	△ 2	△ 8.4%	26	+0	+2.7%	-	-	-
税引前四半期純利益	376	+57	+17.9%	113	+48	+74.4%	228	△ 11	△ 4.7%	34	+20	+143.8%
法人税等合計	108	+15	+17.1%	33	+14	+79.7%	66	△ 4	△ 6.2%	9	+5	+137.1%
四半期純利益	267	+41	+18.2%	80	+33	+72.3%	162	△ 7	△ 4.1%	24	+14	+146.5%
修正利益	280	+59	+27.2%	80	+33	+72.3%	162	△ 7	△ 4.1%	36	+33	+897.8%
基礎利益	418	+43	+11.5%	152	+36	+31.8%	252	△ 20	△ 7.4%	14	+26	-

* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、当期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

* 基礎利益は新基準で算出しています。前年同期差、前年同期比は、2022/3期1Qを新基準で再計算し算出しています。

2. 国内生命保険事業（健全性指標等）

■ ソルベンシー・マージン比率

	T&Dホールディングス連結（参考）		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/6末	前期末差※	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	948.5%	77.8pt低下	678.0%	56.2pt低下	1,151.0%	52.8pt低下	549.0%	200.5pt低下

■ 実質純資産

（単位：億円）

	T&Dホールディングス連結（参考）		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/6末	前期末差※	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差
実質純資産	21,493	△ 5,181	6,880	△ 1,640	13,566	△ 2,095	398	△ 699

■ 有価証券等の差損益（一般勘定）

（単位：億円）

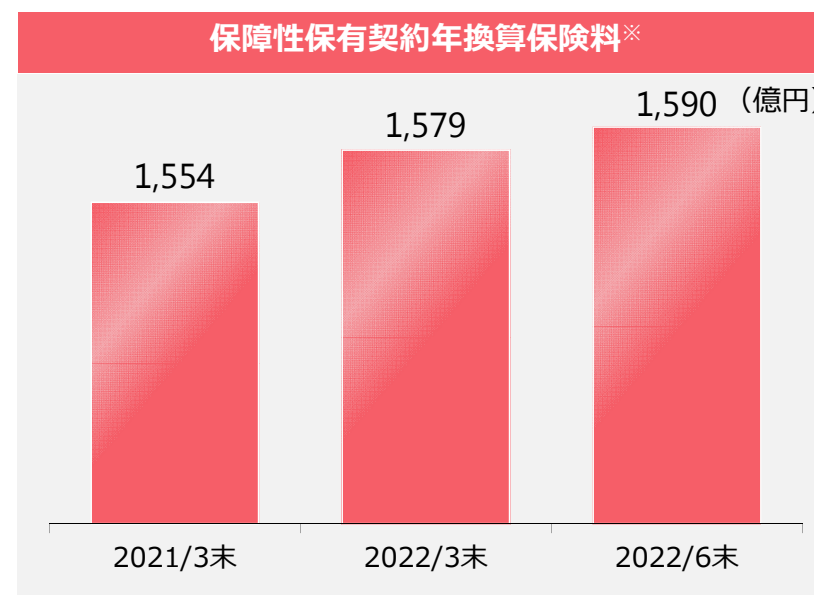
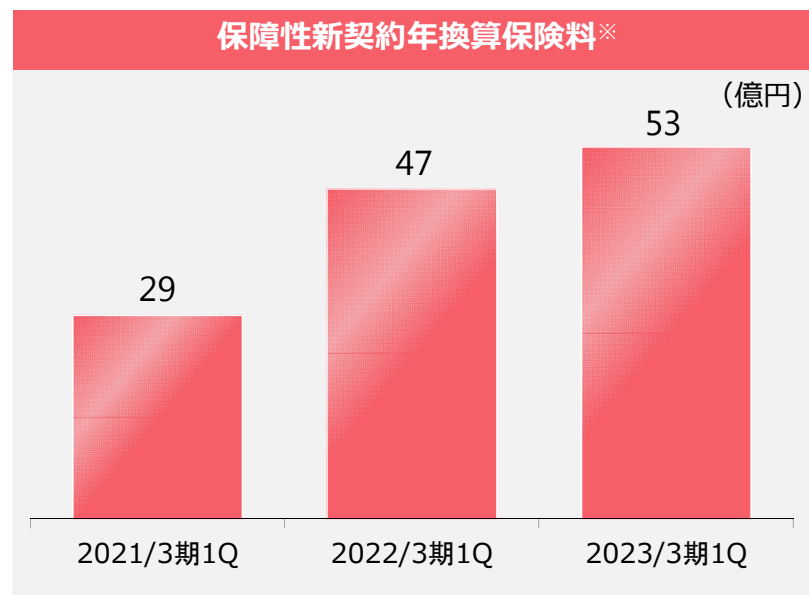
	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差	2022/6末	前期末差
有価証券の差損益	3,844	△ 4,756	2,556	△ 1,652	1,809	△ 2,395	△ 521	△ 708
うち公社債	955	△ 2,314	911	△ 845	△ 296	△ 1,385	340	△ 83
うち株式	2,590	△ 184	1,068	△ 38	1,522	△ 146	-	-
うち外国証券	679	△ 1,446	353	△ 719	330	△ 723	△ 4	△ 3
土地等の差損益	1,435	+1	634	+0	800	+0	-	-

* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除いています。

* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しています。

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障性新契約年換算保険料※は、前年同期から13.2%の増加。



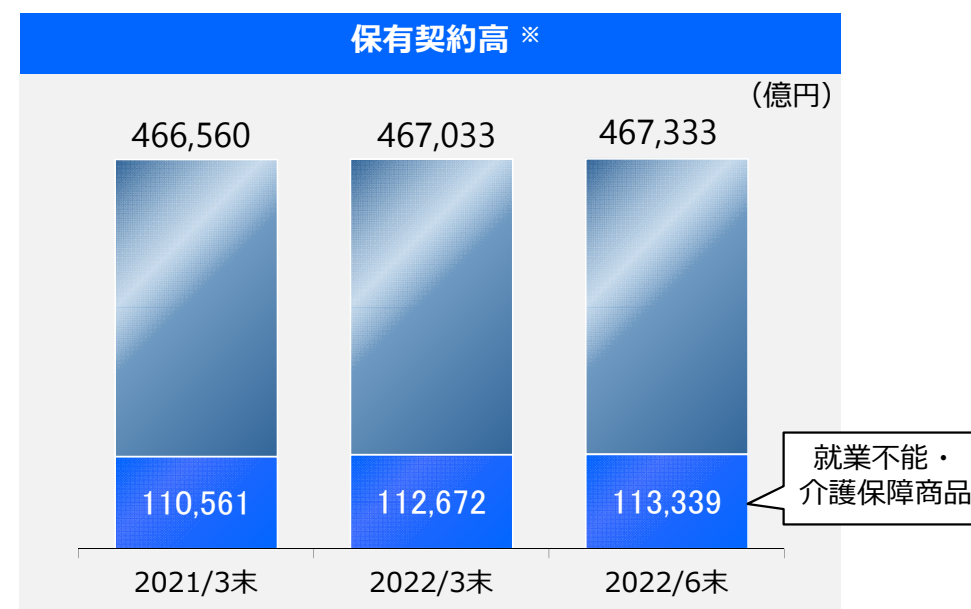
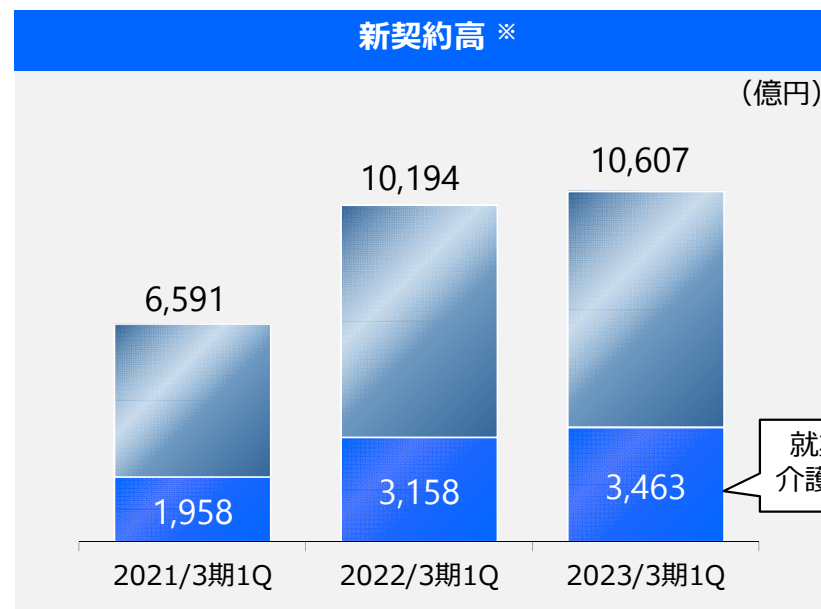
- 保障性新契約年換算保険料※は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進や、新たに発売した「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」等の販売が好調であったことにより、前年同期から13.2%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料※についても、入院一時金保険等、第三分野商品の販売好調により、前年度末から0.7%増加し、上場以来最高だった前年度末からさらに伸展。

※ 保障性年換算保険料（太陽生命独自の指標）とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。
同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

- ・ 「ハイブリッド型営業」等の新たな営業スタイルの確立や、お客さまのニーズに対応した保険商品の提供ができるようチャネルの多様化を図ることにより顧客とのアプローチ機会を拡大。
- ・ 2022年5月に「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」・「事故割増死亡保険」を販売開始し、お客さまのさまざまなニーズに応えることができるよう保障を充実。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 新契約高は堅調に推移し、前年同期から増加。保有契約高は前年度末から純増。



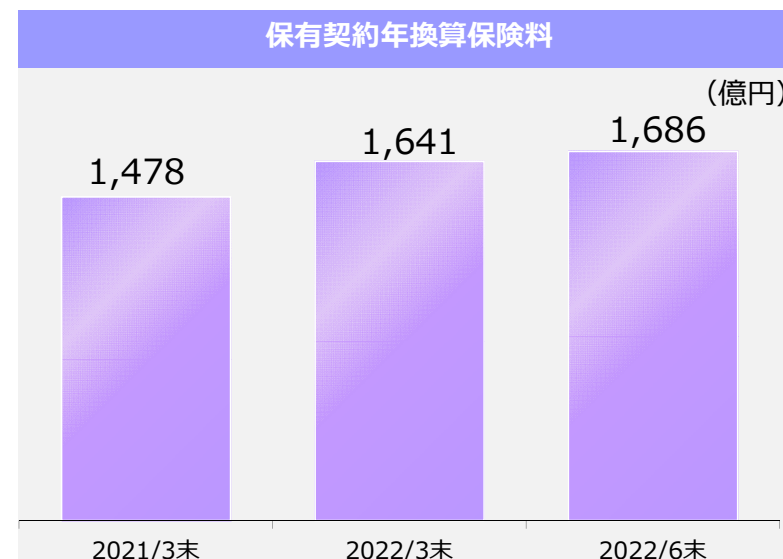
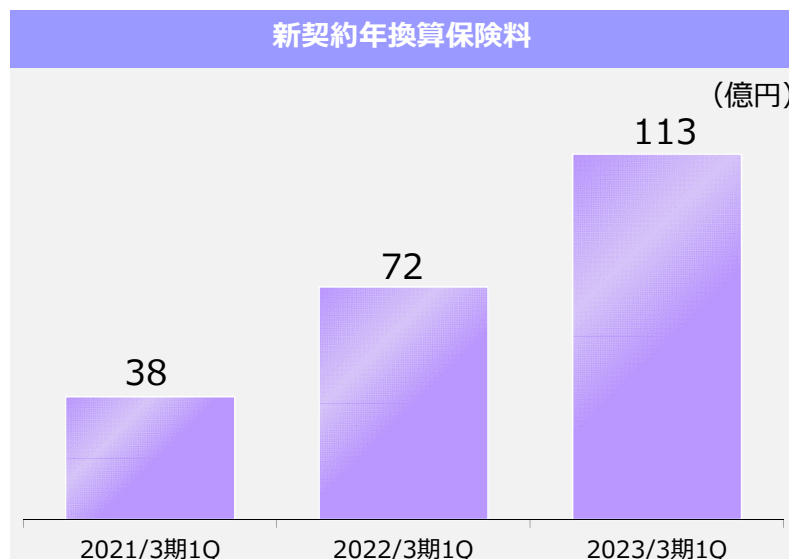
- 対面・非対面を組み合わせた丁寧なコンサルティング営業の実践等により、お客さまの保障ニーズに対する確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品（aシリーズ）の販売が堅調に推移。
- また、「予防」と「そなえ」を一体化した健康増進型保険「会社みんなでKENCO+」（2022年1月発売）の販売により、新たなニーズを取り込み、「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年同期から増加。
- 新契約高が堅調に推移したことにより、保有契約高は前年度末から純増。

健康経営®の総合支援ツールである「KENCO SUPPORT PROGRAM」や、サステナビリティ経営を後押しする「DAIDO Sustainability INITIATIVE」など、中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションの提供を通じ、「中小企業に信頼されるパートナー」を目指す。 ※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※ 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフa」等の介護保険金額を含みます。

【参考】 T & D フィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は堅調に推移。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は113億円、前年同期から57.3%増加。海外金利の上昇による商品の魅力度向上等の影響により、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」の販売が堅調に推移。また、昨年発売した変額保険「ハイブリッドシリーズ」も商品浸透および代理店数が拡大したことにより、着実に販売が拡大。
- 保有契約年換算保険料は1,686億円、前年度末から2.7%の増加。

人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」は、「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2021年6月販売開始の「ハイブリッド アセット ライフ」、2021年12月販売開始の「ハイブリッド あんしん ライフ」に加え、2022年4月より「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。シリーズ3商品で資産形成層から高齢層まで幅広くカバーし、お客さまの保障ニーズやリスク許容度に応じた設計も可能な商品を提供。

3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (クローズドブック事業等)

■ T & Dユナイテッドキャピタル（連結）の状況

- 一時的な評価性損益等を調整した修正利益は、フォーティテュード社における運用収支が好調であったこと等により、106億円と前年同期から増加。

四半期純利益は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う一時的な評価性損失等を計上したことによりマイナスとなった。

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期差
経常収益	0	1	+1
経常費用	573	889	+316
うち持分法による投資損失	567	884	+316
経常利益（△は損失）	△ 572	△ 887	△ 314
四半期純利益（△は純損失）	△ 543	△ 859	△ 316
修正利益	22	106	+84

* 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

* 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

【ご参考】

- ・フォーティテュード社の第2四半期会計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）において、主に米国金利上昇等に伴い会計上の一時的な評価性損失等1,060億円程度を計上する見込み。
 - ・当社の第2四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）において、この一時的な評価性損失等を含めフォーティテュード社にかかる持分法による投資損失として1,000億円程度を計上する見込み。
 - ・なお、一時的な評価性損失等を調整した修正利益は、第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)で180億円程度を計上する見込み。
- * フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第2四半期会計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）の損益は、当社第2四半期決算に反映されます。

3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (アセットマネジメント事業・損害保険事業)

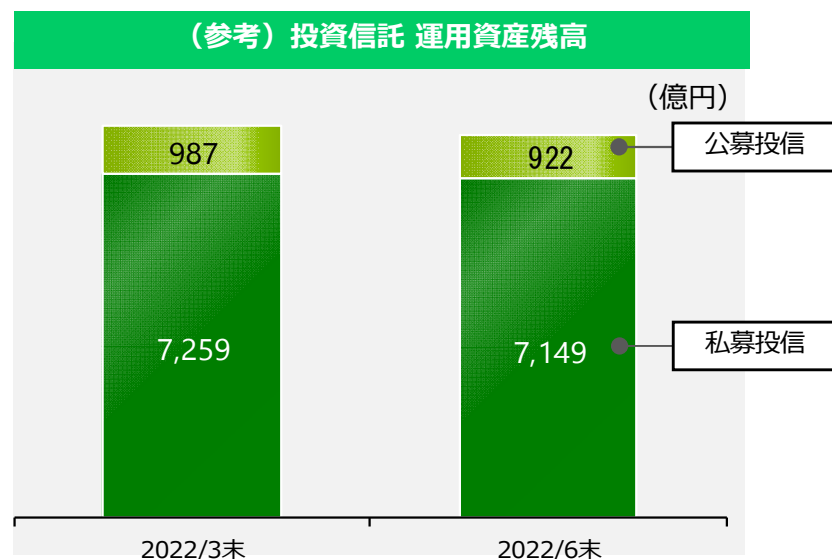
■ T & Dアセットマネジメントの状況

- 第1四半期は、主力の投資信託が資金流入超となったものの証券市場の下落等により運用資産が減少し、営業収益※、四半期純利益ともに前年同期から減少。経常利益・四半期純利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023/3期 1Q	前年同期差
営業収益 (実質ベース)※	664	△ 57
経常利益 (△は損失)	△ 38	△ 104
四半期純利益 (△は純損失)	△ 27	△ 77

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入。

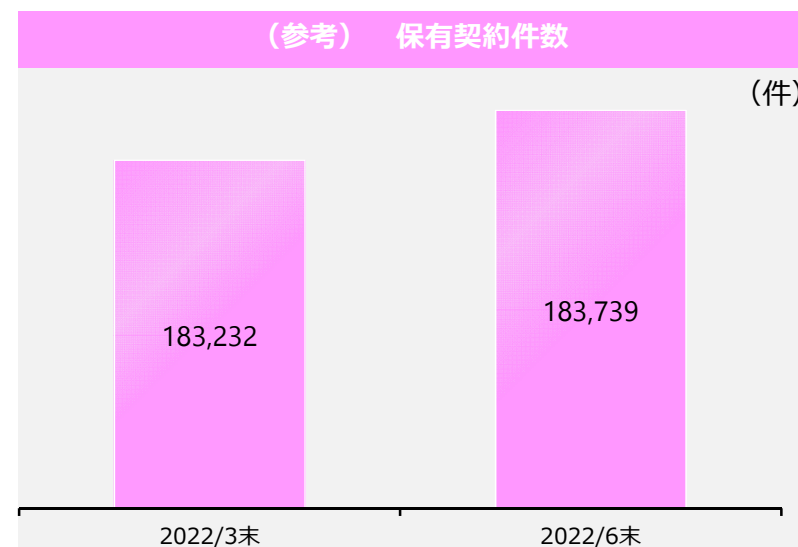


■ ペット&ファミリー損害保険の状況

- 保有契約件数の増加や2021年12月に実施した保険料率改定の効果により、経常収益は順調に伸展。収入保険料の増加に伴う責任準備金の積み増しにより経常利益・四半期純利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023/3期 1Q	前年同期差
経常収益	2,396	+338
経常利益 (△は損失)	△ 27	△ 53
四半期純利益 (△は純損失)	△ 20	△ 39



4. 通期業績予想・株主還元

■ 2023年3月期 通期業績予想

T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)
経常収益	26,143	23,900
経常利益	570	840
親会社株主に帰属する当期純利益	141	170
グループ修正利益	392	1,060

* 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

■ 株主還元

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)
1株当たり年間配当金	56円	62円
(うち中間)	28円	31円
(うち期末)	28円	31円

生保3社

(単位：億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)
経常収益	14,398	8,400	10,326	10,300	4,853	4,800
経常利益 (△は損失)	△ 866	560	1,227	1,020	56	0
当期純利益 (△は純損失)	△ 741	280	762	620	31	△ 10
保険料等収入	5,981	6,800	8,080	8,200	3,671	4,500

※ 通期業績予想および1株当たり年間配当金予想は2022年5月13日公表内容から修正なし。
 なお、実際の業績は今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況

■ 新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況 (3社合算)

(単位：件、億円)

	2021/3期累計		2022/3期累計		2023/3期 1Q	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
死亡保険金	29,037	1,602	30,386	1,649	7,852	438
うち新型コロナウイルス感染症関連	209	15	542	47	105	7
入院給付金	276,312	208	319,232	233	170,437	130
うち新型コロナウイルス感染症関連	3,725	3	28,217	35	52,106	73
うちみなし入院 (率)	約60%		約90%		約99%	

* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	加藤	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	斎藤	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	伴	TEL 03-6745-6808